

学校運営協議委員の感想

篠原委員

CSと子どもたちとの車座になって始まった話し合いの中で強く感じたことは、児童一人一人が他人の意見に耳を傾け、しっかりとした自分の考え方にもとづき、聞かれたことに対して、はっきりと受け答えができていたことです。

赤林委員

発表を聞いて、学校周辺の環境に対する皆さんの意識と発表のレベルの高さを感じました。意見交換会でも、個々の意見の違いを乗り越え、皆が自分の得意な分野で役割を果たしたことが分かり、強い感銘を受けました。



福田委員

今年度の6年生は総合学習として「誰もが安全で安心して暮らせるまちづくり」をテーマに、井草・下井草の街を実際に歩き、問題点や改善点を探し、議論を重ねて保護者や地域住民などに発表、意見交換して考えをまとめました。



飯塚委員

各グループ同じテーマでも様々な視点から考察、調査をしてまとめていて感心しました。改善策もいろいろなアイデアが出ていたし、費用のことにも目を向けていて「なるほど」と思うことがたくさんありました。区の職員の方も関わって進めてきたということなので、ぜひ今後の施策に役立てていただきたいと思います。

久保田委員

大人たちでは思いつかない斬新で柔軟な発想に驚くとともに、このまちの将来を担う子どもたちを頼もしく感じました。そのまますぐに成長していけるよう、一保護者としても見守り、応援していきたいです。

田村委員

みなさんの住む下井草の将来の街づくりを考えることは、6年間を過ごしたふるさと下井草、ひいては自分自身を大切に思う気持ちに通じるのではないのでしょうか。各グループの発表にその思いを感じることができ、とても嬉しくなりました。未来に羽ばたけ八成生！



八成は自然豊かな学校です



杉並区立八成小学校
学校運営協議会

だより

八成小の取組を紹介します！



八成小は
今年70周年を迎えました
~to the future~



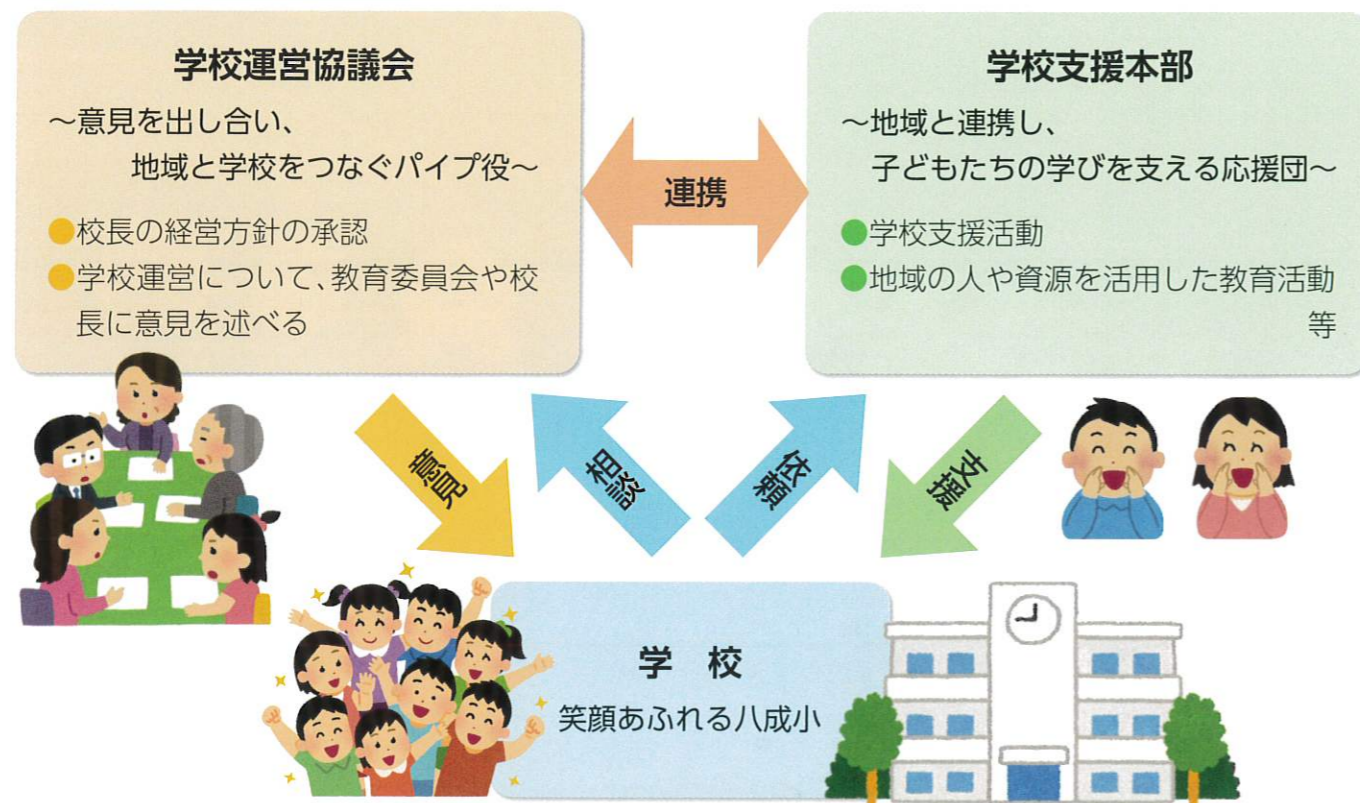
会長挨拶 鈴木 友美

6年生の児童が「誰もが安全で安心して暮らせる」まちづくりをテーマに掲げて、自分たちのまち、下井草を暮らしやすいまちにしようと動きました。まち歩きからスタートし、自分たちのグループのテーマを決めました。テーマに向かって、グループが団結して、問題点、疑問点、良いところ、直したいところなど、時間をかけて調査してきました。その成果をまとめて、保護者、地域の方、杉並区の職員に向けて発表しました。どこに視点を当てたのか、問題点は、改善点は自分たちで考え、行きつくところまで真剣に考えつくしたものだとなりました。それは発表の時の自信たっぷりの表情で分かりました。そのあと1グループずつ、CSや学校支援本部、杉並区の職員、保護者の方が入って話し合いをもち、テーマの決め手は何だったのか、やってみてよかったこと等の取り組んだ感想などを交流しました。6年生全員に大きな拍手です。今後の下井草の町に、6年生のアイデアが数多く取り上げられることを願っています。

校長挨拶 浮ヶ谷 優美

校長にとって学校運営協議会(以下CS)委員の方は頼りになるよき理解者であり、ちょっと耳が痛い辛口の助言者でもあります。今年度印象的だった活動が二つありました。夏休みの教員・CS・学校支援本部の合同研修会では、小グループで小一時間話し合い、たっぷりと交流を深めました。また、11月には初の取組として、校舎内外の施設点検にCS委員の同行をお願いし、危険個所の確認や施設の有効活用を話題にしました。CSは、学校に寄り添いつつ第三者の視点で厳しくも温かく見守ってくださるよきパートナーです。

学校運営協議会と学校支援本部、学校の関係



7月28日(月)に学校運営協議会委員、学校支援本部、教員の合同研修会を行いました。今年度は、70周年の年ということで、同窓会長の福田さんから、地域の歴史についてお話をいただきました。その後グループに分かれて、懇談会を行いました。



意見交換後の教員の声

● **教員** CSや支援本部の方々と懇談することで、お名前と顔が分かり、交流することでそれぞれの立場からの思いを理解することにつながった。今後も、地域の大切な子どもたちを育てていくということで、定期的に交流の機会があるとよいと思う。

● **教員** グループ懇談では、教員になった理由についても話題になり、大変勉強になった。CS委員の方の地域への思いや子どもたちへの思いの話を聞き、学校と地域が協力して子どもたちを見守っていく、そんなよい関係づくりをこれからもしていきたいと思った。

地域と学校が互いに理解し合って教育活動を進めていく必要性を共有しました

6年生児童との意見交換会

6年生の児童たちは、「だれもが安全で安心して暮らせる」まちづくりをテーマに「まちあるき」や「グループワーク」を通して、どんな下井草のまちだったら暮らしやすいかを考えました。その成果を保護者や地域の方、区に向けて発表しました。



活動の様子



発表会の様子



児童の感想

- 座談会では、60年ほど前の下井草駅南口のことを教えてくれました。昔の下井草駅南口には、八百屋、魚屋、肉屋などがたくさんあったそうです。今は、2軒になってしまいました。みんな今、荻窪駅や阿佐ヶ谷駅の方に行ってしまうけれど、下井草駅周辺にも大きなビルが建ち、都会っぽくなるとお客さんがたくさん来ると話してくれました。私は、下井草駅周辺がにぎやかになってくれたらいいなと思いました。
- 座談会では、下井草駅を地下化したいという思いやおすすめの公園を教えてくださいました。下井草の地下化の話は、この町づくりの学習をしていなかったら多分知らなかった話なので、いろいろな話がたくさん聞けてよかったです。
- 座談会では、大人の方々といろんな話をして、「下井草をこんな町にしていきたいね」とたくさんの意見が出てきてとってもいいなと思いました。わたしたちの提案が実現するかは分からないけれど、数十年後にはポイ捨てが少ない町になっているかもしれないと思うと、ワクワク・ドキドキが止まりません。すてきな下井草駅周辺になってくれると嬉しいです。

